

令和3年度 第3回岐阜市自然環境保全推進委員会 議事録

日時：令和4年3月30日（水） 17時00分～18時10分

場所：岐阜市役所6階 6-1大会議室

次第：1 あいさつ

2 報告事項

(1) 普及・活用部会の検討内容について 資料1-1～資料1-2

(2) 保全・再生部会の検討内容について 資料2-1～資料2-5

3 審議事項

2021年度アクションプランの進捗状況及び点検・評価について 資料3

4 その他

<資料>

- ・資料1-1 令和3年度第1回岐阜市自然環境保全推進委員会
普及・活用部会 議事概要（11月2日）
- ・資料1-2 令和3年度岐阜市生物多様性シンポジウムの開催について
- ・資料2-1 令和3年度第2回岐阜市自然環境保全推進委員会
保全・再生部会 議事概要（2月14日）
- ・資料2-2 岐阜市の自然情報調査（令和4年3月更新版）
- ・資料2-3 次期レッドリスト・ブルーリストの改訂方針（案）について
- ・資料2-4 市政モニター調査報告書
- ・資料2-5 次期レッドリストの改訂方針について
- ・資料3 2021年度生物多様性アクションプラン進捗状況及び点検・評価

出席委員：伊藤栄一委員長、中村源次郎副委員長、市來恭子委員、加納一郎委員、
川瀬基弘委員、菊本舞委員、後藤宗夫委員、近藤慎一委員、下川吾朗委員、
田中俊弘委員、中田宗八委員、野尻智周委員、野村典博委員、肥後睦輝委員
欠席委員：大塚之稔委員

【17時00分 開会】

○事務局

予定の時刻となりましたので、只今から「令和3年度第3回 岐阜市自然環境保全推進委員会」を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、環境保全課長の阿部です。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、本日お越しの傍聴者に、あらかじめ注意事項を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、マスクの着用や手指の消毒にご協力ください。また、体調のすぐれない方については、審議会等の傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。

その他、受付にてお渡しした遵守事項をお守りの上、静粛に傍聴をお願いいたします。

事前に、新型コロナウイルス感染症予防に係る案内をさせて頂きましたが、会議中はマスクの着用、咳エチケットの励行をお願いします。

また、委員会は、効率的に進行させていただきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、はじめに、環境部長の長屋からご挨拶申し上げます。

○環境部長

(あいさつ)

○事務局

それでは、これより議事に移ります。

はじめに、本日の自然環境保全推進委員会の出席者数について報告します。

本日、委員 15 名中、出席者は 14 名で、過半数に達しておりますので、岐阜市自然環境保全推進委員会規則第 5 条第 2 項の規定により本推進委員会は成立しております。

次に、本日の会議資料を確認させていただきます。

次第、席次表兼委員名簿、資料 1-1 と 1-2、資料 2-1 から 2-5、資料 3 であります。

それでは、本委員会の議長につきましては、規則第 5 条第 1 項の規定により、委員長が議長となりますので、これからの、議事進行は、伊藤委員長に、お願い申し上げます。

○委員長

それでは、はじめに、報告事項の「(1) 普及・活用部会の検討内容」について、事務局から報告を求めます。

○事務局

(資料 1-1 から 1-2 に基づき説明)

○委員長

只今の事務局の報告について、ご意見などございましたら、ご発言をお願いします。

【委員意見なし】

次に、(2) 保全・再生部会の検討内容について報告をお願いいたします。

○事務局

(資料 2-1 から 2-5 に基づき説明)

○委員長

只今の事務局の報告について、ご意見などございましたら、ご発言をお願いします。

○委員

こういった文章にSDGsと盛んに出てきます。マスコミを見ていると経済界等でSDGsと盛んに言われていますが、ここ（資料）でも、SDGsを推進するから、SDGsに基づいて岐阜市の政策や政治や行政というのはどこで決めたのですか。あるいは国で決めているのでしょうか。色々な本を買って読んでも、わが社はSDGsの17項目のこれとこれをやっているとして盛んに広告に出てきますが、どこが、何をしているのか、知っていたら教えて欲しいです。

○事務局

ありがとうございます。SDGsは決して自治体等だけの問題ではなく、世界的に地球温暖化、あるいは様々な問題において、持続可能な社会、あるいは世界を作っていくための、大きな目標群でございます。岐阜市といたしましても、色々な施策の中で、SDGsのこういった部分に施策が該当するのかなといったことを、常に考えながら施策を展開するよというということで、特に、近年市長の方から指示の方が出ておまして、直接的には目に見えないのですが、例えばゴミの問題は持続安定的な社会を構築するための一要素であるとか、そういったことを踏まえながら施策を考えている所であります。

今回の、レッドリスト・ブルーリストの改訂等も、令和4年度に行いますが、今まではこういったリストという、比較的、動植物の保全とか、あるいは、どの分類が貴重なのか、外来種なのかという、分類で済ませていた、終わっていたところも一方ではありますが、これからのレッドリストとか生物環境の施策やリストについては、このリストを使って、人々、あるいは未来ある子どもたちが持続可能な社会、あるいは生物群等を守っていくということを認識していただけるような、そういったリストを作っていきたいと思っておりますので、色々な施策の中に、SDGsの理念が根底にあるというのが分かるような施策の展開をしていきたいと思っております。

○委員

その説明はよく分かるのですが、例えば岐阜県が清流長良川の国といった、キャッチフレーズは、このような政策で、今の行政の責任者はこうやっていきますと分かります。これは、こういった事（政策）をずっとやっていたわけですね。そう言われますが、行政の人は、皆さんがその席に座る前から、ずっとやっていました。なので、何故SDGsなのかという事が分かりません。色々な書籍によれば、SDGsは男女共同や生産するのにフェアトレーディングとかあり、これ（環境保全）はその中の1つですね。それをやるのはいいのです。SDGsだからというのが分からない。これがSDGsの1つですよというならよく分かります。岐阜県が清流長良川の国を目指しているから、皆清流やりましょうはよく分かります。すでにSDGsありきだと、ここで、岐阜市はSDGsだ、絶対これで行くべきだということをやったわけでもない。なんとなくでは、どこかで矛盾がきますよね。

○事務局

ありがとうございます。SDGsも多様な目標やターゲットがございまして、ご存じかと思いますが、17の目標と169のターゲットという事で、貧困を無くそうとか、全ての人に福祉をといた様々なことがございますので、やはり、一個一個の施策が、その目標のどこのターゲットに当てはまっているのかというのが、おっしゃられるように分かりにくい事だと思っております。しか

し、色々な施策の中で、これらの17の目標と169のターゲットが必ず沿う部分があるかと思しますので、そういった事を、行政としても分かりやすく説明していかなくてはならないという事を、改めて思った所であります。

○委員長

SDGsという事が、社会的に広く伝わっていますが、岐阜市の場合はSDGsを市政の中でどう扱っていくのかという事を、明確にお示しいただく中で、この事業に関しては、どの項目に当てはまっているのか、分かりやすい形でお伝えできるような整理をしていただきたいといったことではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

そういうことです。

○委員長

他にはよろしかったでしょうか。それでは、次に、3 審議事項 2021年度アクションプランの進捗状況及び点検・評価について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

(資料3に基づき説明)

○委員長

只今の事務局の報告について、アクションプランの資料3の6ページから10ページまでの、個別目標に係る取り組み内容について、また、アクションプランの点検評価として、5ページのアクションプラン総括表の(1)個別目標に示された事務局の評価について、ご意見、ご質問がありましたら、ご発言をお願いいたします。

○委員

9ページの、個別目標C1のロードマップの目標値に「岐阜市の自然情報調査を完了」とありますが、実際に現場で調査をしておりますと、岐阜市の自然というのは、日々どんどん移り変わっているのです、これを完了としてしまうと、ここで終わってしまうのかと思えてしまいます。できれば、こういった基礎的な情報といいますのは、継続する事が大事かと考えておりますので、そういった事も考えていただけるとありがたいと思います。

○委員長

完了というのはふさわしくないかもしれないといった意見かと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

確かに、来年度も調査自体は継続させていただきますし、また今後も継続していく予定ですが、ただ、ここの自然環境の一番の目的が、来年度に控えております、レッドリスト・ブルーリストの改訂ということでございますので、ここで区切りというか、一旦大きな目標であります調査に

対して、指標の内容も、それを想定して書いてあると思いますので、一度こういう形で調査の完了という形で書かせていただいたという趣旨であります。

○委員長

違和感がありますが、良い言葉はありますでしょうか。

○委員

そういうことだというのは、重々承知しておりますが、言葉的な部分で、今年度で完了という形なのはわかりましたが、来年度の（アクションプランの）目標のところに（調査を）残していただければと思います。難しければこのままでも結構です。

○委員長

どういう書き方をするかということでしょうけれども、予定されたものを終了したという意味合いで、完全に終わったという表現の意味合いではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

岐阜市の出先にいたときに、こういった言葉に苦しめられました。完了したから、この仕事は終わりましたと言われます。ここは、市行政の中の中心の部分なので、そういうことは無いと思いますが、完了と書くと、終わりましたと言われるといけない。これは延々と続かないといけないのです。細々とでも続かないといけないので、そのところを、そういった意味の言葉で作っておいてもらわないといけません。岐阜市の方にご配慮いただければと思います。

○事務局

ありがとうございます。確かに日々自然情報調査というのは積み重ねをしていただきまして、決してどこかで完了するという認識はしておりません。ただ、私共の方の頭の中で、レッドリストの作成するために、それに先立っての自然情報調査の完了というように書いてしまいましたけれども、こちらの方訂正させていただくのであれば、例えばレッドリスト改定に先立つ岐阜市自然情報調査を完了とか、そういった言葉を少し入れながら完了という所の内容を分かりやすくさせていただければと思います。

○委員長

はい。ご配慮いただくということで。事業目標としていたところを達成したというところかと思えます。終わってしまったという印象を受けないような表現にさせていただければと思います。

○事務局

かしこまりました。

○委員長

他にはいかがですか。個別目標についてはよろしいでしょうか。それでは、5 ページに全体評価を示すところがございます。2021 年度の意見と、進捗状況◎ということで昨年標記をしております。

ます。今年度の、当委員会としての全体評価に対する意見を取りまとめる必要がありますが、どのように計らいましょうか。

進捗状況という所では、◎でよろしいかと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員意見なし】

○委員長

内容についてはいかがでしょうか。

○委員

他の委員がおっしゃった部分は非常に重要な部分で、もう終わったからいいだろと言われてしまうと困ります。私自身も金華山で活動する中で、これは終わりましたと言われても、山はずっとあるし、登山道もずっと使われ続けています。その中で我々ができることをやらしていただいています。もう、支援終わりましたと言われてしまうと、自分たちでできる事をやればいいのかという話になります。しかし、金華山の登山道というのは岐阜市の市道であり、管理のお手伝いをさせていただいている団体ですので、その中で、我々もなかなか辛いものがあります。今のような話を含めて、2021年度、今現在の位置として様々なことが順調に進んでいる、ただし、ずっと続いていく中で、これが今後も続いていくということをここに意見として記載していただくと、我々も安心ですし、この資料をご覧になった方たちも岐阜市が今後も自然環境あるいは生物多様性の保全に取り組んでいくという意思表示であるとして安心して取り組んでいけると思います。そういった表現を盛り込んでいただければと思います。

○委員

アクションプランの進捗状況について、数字的に出しやすく、目に見える形で出しやすい項目がA1、B1、B2、C1、D1というのが分かりやすい指標ですけど、これができたからもういいだろうということになってしまうのが怖いので、年に一回でもいいので、がやがや会議を開催して岐阜市の事業の抜けているところなどを指摘する必要があると思います。数字があるからいいだろうというものではないと思います。

○委員長

意見として盛り込むのであれば、数値目標は達成されている、ただし他の委員が意見されたように検証が必要でしょうし、継続的な調査というかアクションが必要であるということも盛り込むということで。数値で評価されないものも落とさないために、多くの意見を集めていくことを継続していく必要があることを盛り込んでいただければと思います。

○委員

特にSDGsというと全体的に社会がこうしていきましょうという雰囲気なのに、この項目だけやって、いいでしょうというのは、ありえないと思います。

○委員長

盛り込んでおくべき意見がありましたら、今出していただいでよろしいでしょうか。会議が終わるまでに1つ文書案としてまとめることになるのかと感じております。

今2点出ていますが、1つ目は、目標は、ほぼ達成されている。ただ、これで終わりではなく、普段からの努力が大切で、アクションを続けていくことが大切だという意見を盛り込んでいただく。もう1点は、数値目標は達成されているが、数字で表れてこない様々な評価項目についても評価できるような仕組みを考えていく必要があるという意見です。今のだと3点くらいの意見がでていますが。

○委員

例えば、6ページの個別目標について、A1のロードマップをご覧いただくと、現時点で生物多様性の言葉の認知度のアンケート結果が2022年度の50%以上という目標で、現時点の2022年で58%と十分超えてしまっている。この点については再考して、達成しているのだから次のステップを考えてはどうかというご意見も出ています。しかし、どうするかという点については審議事項として入っていないので、置いておくとしても、他の個別目標についても数値を十分上回っているのであれば、目標値を見直す必要もあるかと思えますし、あるいは目標そのものについて、別の目標を設定する。それぞれの個別目標を達成する指標として本当にふさわしいものがないだろうかという議論はしっかりとしていく必要があります。

意見という欄に、次の3か年に向けて2022年度には目標を見直す議論を重ねますということが記載されていることがいいかなと感じました。以上です。

○委員長

当該のアクションプランの目標を変更するのではなく、次のアクションプランの目標に向けて議論をしていくべきという意見を記載すべきだという意見をいただきました。

○委員長

2022年の目標についてはこのままおいておくということでしょうか。

○委員

そうですね。この短時間の間で変えるというのは難しいと思います。

○委員長

議論する時間が無いという事でしょうか。

○委員

変えたらいけないかと。

○事務局

ありがとうございます。現在の第2期アクションプラン2020～2022につきましても、それぞれの目標項目であるとか、数値目標などもご議論をいただきながらお示しをして、策定をしているところでございます。ただ、この2022年度に、2023年度以降3年間のアクションプランを策定

してまたお伺いをする予定をしておりますので、その中で現目標の数値を達成したようなものについては、やはり同じ目標では駄目ですし、また、色々な角度から新たな目標が出てくることも想定されますので、時世と現象に応じた新たなアクションプランの中で、頂いたご意見は反映していきたいと思えます。

○委員長

それは、アクションプランとしてはある意味当然と言えば、当然のことだと思えますので、どう表記していくかというのは、検討が必要かと思えます。

それでは整理をさせていただきます。進捗状況については◎をつけるということでもありますので、概ね目標は達成され、評価できる取組みとなっているということが頭にくるのかなと思えます。但し、目標を達成する事で終わりでは無く、表現についてはまた検討する必要があるかと思えますが、普段のアクションを続けていくという事が、当然全体として盛り込まれる必要があるという事。もう一点は技術的な課題として、数値目標を達成したかどうかという事だけで評価するだけではなく、その他数値にあらならない事についても評価できる仕組みを検討していくべきだという事だったかと思えます。それから、次の2023年度以降に向けて、これまでの達成状況を踏まえながら、より高い達成目標を検討するよう、2022年度に検討していく必要があるというような事を盛り込むといった、以上3点が委員の皆様から出たかと思えます。

表現の細部については、文章化をさせていただいて、また皆さんにお流しするという事で良いでしょうか。かつちりと決めておいたほうがよろしいでしょうか。

○事務局

後ほど委員長と細部については決めさせていただきまして、文章については各委員さんに、確認させていただきたいと思えます。

○委員長

それでは、先ほどの3点を文章化いたしまして、皆さんにまた見ていただくという事でこの場をご了承いただくという事でよろしいでしょうか。

もう一度皆さんにフィードバックをして、それをまた頂いて、委員長から岐阜市あてに審議事項に係る報告として、報告させていただくという流れかと思えます。

審議事項は以上となります。

それでは、改めて、本日の審議のとりまとめをいたします。

本日事務局から報告事項(1)については、特段ご意見ございませんでしたので、そのままでもよろしいかと思えます。

報告事項(2)については、全体に係る話かもしれませんが、SDGsという社会の流れ、世界の潮流の中で、今、我々が取り組んでいるアクションがどこに位置づいているのか、というのが岐阜市の行政課題としてSDGsをどう捉えるのか、それぞれの項目について、それぞれの施策とSDGsの項目との関係論について明確にする形で、市民の皆様に分かりやすい形でご整理頂くという事をお願いしたいという意見があったかと思えます。

また、審議につきましては、9ページのロードマップの中の指標として使われている「完了」という文言は、ここで終了してしまうという印象を与えるので、この目標については達成できた

というような言葉として書き変えてもらう、がご指摘としてあったかと思えます。終わってしまったのではないという事をちゃんと表現できるようにしていただきたいと思えます。

また、全体評価としては、進捗状況としては◎でいいかと思えますし、中でも、継続していくという事を盛り込んでいく事、それから、数値目標という事に頼るのだけではなく、様々なことを評価できる仕組みというのを検討していく必要があるのだという事、それから目標値の見直し等も必要になってくるかと思えますので、更にステップアップできるよう 2023 年以降のアクションプランに向けて 2022 年度に検討を進めていくことを盛り込んでいただく、ということ盛り込んだ上で、2021 年度の全体評価としては概ね目標を達成していると評価できる取組みとなっているといった取りまとめになるかと思えます。

これらを取りまとめて、後日、修正させていただき、審議結果として報告をすることになるかと思えます。

次に、4 「その他」であります。

事務局より報告等がありますか。

○事務局

次回の推進委員会は 6 月に開催する予定としており、また、各専門部会は、7～9 月頃に開催する予定であります。ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長

その他、委員の皆様から報告などございますか。

○委員

3 分程お時間を頂きたいと思えます。

皆さんご存じのように達目洞の周りに道路が走っており、いつも作業があるとき車を置く広場がありますが、2019 年、国有林の部分を森林管理署がイノシシ対策で樹木を沢山切られました。そこは、高い木があって、下に低い草などが生えていましたが、そこにイノシシが来るという事で、高い木を切ってしまいました。それと、トンネル側の東の木も切ってしまいまして、そこにその後外来植物が生えたという事で、我々の方で駆除などし、大変な作業をしておりまして。元々国の方が、どういう順序を持って、そういう方法でやったかというのは分かりませんが、毎年草の下狩りをするようになったという事です。こういう状況ですと森林管理署の方とお話をした時に、トンネルの東側に丁度イノシシが入って表土が崩れて、水が出てきました。それで、水が溜まって、今行くとカエルがそこで産卵するのではないかと思えるような良い環境ができてきています。森林管理署と話をしたときに、ここを保護させて下さいよと話したら、大丈夫ですよと言って頂けたのですが、そこはまた、イノシシが入って崩れてしまうものですから、元々枝とかで囲っていましたが、それではイノシシを止められないので、ネットを張りました。ネットを張って、一部足場が悪いので、板などを置いていましたが、森林管理署の方から少しやりすぎではないかと、国有地で保安林なので、一般の方がというのは許されない事ですから、やりすぎではないかとの話がありました。一部の委員の方にもお話をさせていただきましたが、木を切ったことと、イノシシによって良い環境が生まれたものですから、是非この場所を守っていきたくと、

もっといい環境にしていきたいなと思っていました。すると、国の方が、国有地で保安林のところに、一つの団体が管理するというのはできないという事で、事例として岐阜県内でも協議会を作って、守っているという所があるとの事でした。我々も、達目洞自然の会が主導では無いですけども、皆さんにご知恵を借りながら、協議会を作っていきたいと思っています。どういう風にして作ればいいのか分からないものですから、他の委員に聞きながら規約を作る等、皆さんに力を貸してもらえればと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長

新たな空間ができて、そこに非常に興味深い自然の形が生み出されて、それを残すというか、より保全をしていきたいが、場所が国有地であるがゆえに、1団体という形ではやりにくいので、是非皆さんのお力添えをいただきながら、その形を残す、保全をしていくことを考えていきたいといった趣旨かと思います。また呼びかけもあろうかと思いますが、皆さまも、ご理解ご協力をいただければということでもよろしいでしょうか。

○委員長

それでは、閉会の言葉を中村副委員長にお願いしたいと思います。

○副委員長

本日はお忙しい中15名中14名という事でお集まりいただき、貴重なご意見を出していただき、誠にありがとうございました。

この新庁舎を見ると、金華山が見えておりますけれども、すばらしい自然、環境が保全されているなという事を思います。やはり岐阜は全国の中でも、また世界の中でもそういったすばらしい場所であるということをもっと誇らしく思っただけのように思います。

今日、SDGsの話も出ましたが、これは国連が提唱して定めています。しかし、今、先進国が常任理事国になっていますが、その中のロシアが戦争を始め、岐阜も、そのころは知りませんが、焦土と化していたという中で、また自然が保たれています、ここにきて、SDGsよりも今、エネルギーの値上がりですとか、物価の値上がりに関心がいっているのかと思います。ドイツなどもまた火力発電を出してくるといった、せっかく気候変動といった自然保護に行っていたのが、戦争の関係で優先順位が変わってしまったのかなと世相になってきている事が懸念されます。その中でも、こういった委員会、原点に戻って岐阜の自然の保全を守っていくと、素晴らしい自然を守っていくという事ですね、色々な意見をいただきましたので、取りまとめて、きちっと発信しているようにしていただきたいと思います。

それでは、これもちまして、本日の委員会を終了します。ありがとうございました。

○事務局

ありがとうございました。

【18時10分 閉会】